

平成 30 年 6 月 8 日現在

機関番号：34504

研究種目：基盤研究(B) (一般)

研究期間：2015～2017

課題番号：15H03198

研究課題名(和文) 20世紀半ばの上海から香港への文化人の移動と文化的越境についての総合的研究

研究課題名(英文) A General Study on Intellectuals' move and Cultural Border Crossing from Shanghai to Hong Kong in the the mid-20th Century

研究代表者

西村 正男 (NISHIMURA, Masao)

関西学院大学・社会学部・教授

研究者番号：80302652

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 5,000,000円

研究成果の概要(和文)：本研究では、映画、流行音楽、話劇、小説、漫画、小説などのそれぞれのジャンルにおける上海から香港への文化の移動について考察を深めた。

映画においては、李香蘭・山口淑子の出演した様々な映画、あるいは『万世流芳』『花街』についての考察が進み、流行音楽については、作詞家・李雋青、歌手・葛蘭や胡美芳などについての考察、あるいは上海の流行歌の戦後香港や日本における受容についての研究が進められた。その他、洪深の話劇や、葉浅予の漫画についても考察がなされた。各ジャンル間の関連や比較を通じて、上海から香港への文化人の移動、文化的越境について、総合的で複眼的な研究を進めることができた。

研究成果の概要(英文)：In this project, we advanced our research on cultural border crossing from Shanghai to Hong Kong.

In regards to cinema, we analyzed some films starring Li Xianglan (Yoshiko Yamaguchi), or Glory to Eternity (Wanshi Liufang), Huajie and so on. In regards to popular music, we analyzed lyrics by Li Junqing, of activities by singers like Grace Chang (Ge Lan) and Hu Meifang. We also made a research on acceptance of Shanghai popular songs in Hong Kong and Japan. In regards to other genres, we also made some researches on dramas by Hong Shen or cartoons by Ye Qianyu. By comparison between each genre, we could successfully make the research more general and more diverse.

研究分野：中国文学、中国メディア文化史

キーワード：香港 上海 メディア文化 映画 ポピュラー音楽 越境 大衆文化

1. 研究開始当初の背景

近年の中国近現代文学・文化研究においては、かつての五四新文学や左翼文学偏重から変化が見られ、通俗文学やモダニズム文学などに対しても研究が行われるようになってきた。さらに、小説だけではなく、演劇、映画あるいは流行音楽などに注目する研究者も目立つようになってきている。研究対象とする地域についても、中国本土のみならず、台湾はもちろんのこと、香港や東南アジアなど海外における華僑華人文化へと広がりを見せている。

特に、非左翼の文化、あるいは大衆文化は、中華人民共和国においては発展が困難になったため、中国本土から外部へと、とりわけ上海から香港へと越境して発展していくこととなった。そのような越境現象については、僅かながら先行研究が存在するが、これらの先行研究においては、往々にして小説、映画など個別のジャンルについて分析されるのが常であった。また、それ以外の多くの映画史、演劇史(話劇史)などでは、中国大陸と香港、さらには台湾を個別に独立した地域として扱ってきたため、文化や文化人の越境に対する視点が不足していることは否めない。また上に掲げた流行音楽の先行研究においては、東アジア全体を俯瞰しようとしているため、上海から香港への具体的な継承関係が浮き彫りになっているとは言いがたい。

第二次大戦終結後に上海から香港へと移動した文化人のほとんどは日本支配下の上海で活動していたが、その当時の文化活動、特に映画や演劇については、「漢奸」(売国奴)と断罪する歴史観に縛られ、これまで十分な研究がされてこなかった。本研究課題の研究分担者の著書『戦時日中映画交渉史』『上海抗戦時期的話劇』は、それを乗り越えようとする研究成果であるが、個別のジャンルについての分析にとどまっている。

研究代表者は、これまで科学研究費による共同研究を通じて 1940 年代の文学・音楽文化についての知見を深めると同時に、上海の流行音楽文化や映像文化の香港など他地域への移動・越境現象にも注目してきたが、研究を進めていくうちに、そのような移動は音楽という単独の芸術ジャンルだけではなく、演劇、映画、文学などの上海から香港への越境と重なっており、総合的な文化史を構築することが必要だという認識を深めた。また、これまでの調査は 1940 年代および中国国内の資料に重きをおいていたため、この越境現象を上海側の資料や視角から考察することが中心であった。そこで上海側の資料と同時に越境先の香港側のコンテキストや資料にも注目することで、新たな展開をはかりたいと考えた。

2. 研究の目的

本研究は、1940 年代後半を中心とする上海から香港への文化人の移動によって起こ

った、香港における上海文化の継承の様相を上海・香港双方の資料を活用して明らかにし、そのような文脈を踏まえ上海・香港のテキストを読解することを目標とする。

本研究の第一の目的は香港における 1940 年代末からの種々の芸術ジャンルのテキストにおいて、ジャンル相互間の浸透関係や、上海文化や土着の広東(香港)文化の継承の様相を明らかにし、それにより上海・香港双方のテキストの読解の新たな可能性をひらくことである。例えば、1940 年代の演劇、あるいは上海から香港に移住した作家・徐訏の小説などは、どのように香港映画の題材として受け継がれたのか。上海の流行音楽は香港でどのように継承され、それは映画とどのように関わったのか。広東語の通俗文化は上海から移動した標準語(国語)の文化とどのように浸透し合ったか。そのような継承・影響関係はテキストの中にどのように反映されているのか。本研究課題では、以上のような問題について、明らかにする。

さらに、政治(戦時中の日本、国民党、共産党と戦後の中華人民共和国、イギリス、中華民国、アメリカ、日本)、資本(日本資本、イギリス等国際資本、上海系、南洋系)、制作側と受容者などのコンテキストの中に香港の文学・映画・音楽それぞれのテキストを位置づけ、立体的な文学史・芸術史を再構築する。

3. 研究の方法

対象とする時期は 1940 年代～50 年代(日中戦争末期～冷戦形成期)を中心とする。対象とする地域は、香港と上海を中心とする。対象とする史料は小説、回想録、档案、新聞、雑誌、漫画、映画の映像(DVD など)、映画特刊(パンフレット)、映画脚本、話劇脚本、流行音楽レコードなどである。文字テキスト、映像音声資料の双方の調査、当事者へのインタビューを通じて研究を推進する。

4. 研究成果

本研究では、映画、流行音楽、話劇、小説、漫画、小説などのそれぞれのジャンルにおける上海から香港への文化の移動について考察を深めた。特に、研究開始当初から念頭にあった、日本との関わりについては、研究代表者、研究分担者それぞれにおいて強く意識された。

映画においては、李香蘭・山口淑子の出演した様々な映画、あるいは『万世流芳』『花街』についての考察が進んだ。

流行音楽については、作詞家・李雋青、歌手・葛蘭や胡美芳などについての考察、あるいは上海の流行歌の戦後香港や日本における受容についての研究が進められた。

その他、洪深の話劇や、葉浅予の漫画についても考察がなされた。二度のシンポジウムでメンバー全員が顔を揃えた他、電子メールによる情報交換も盛んに行われた結果、各ジャンル間の関連や比較、あるいは研究代表者、

各研究分担者の間の問題意識の共有や、相互批判を通じて、上海から香港への文化人の移動、文化的越境について、総合的で複眼的な研究を進めることができた。

5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 17 件)

邵 迎建、洪深と『包得行』、知性と創造、査読無、第 9 号、2018、pp.74-89

城山 拓也、中国をスケッチする方法 『浅予速写集』と『旅行漫画』について、JunCture 超域的日本文化研究、査読無、第 9 号、2018、pp.26-39

アン 二、総論 貫戦期における日中映画 - 歴史/表象の連続と断絶、Intelligence、査読無、第 18 号、2018、pp.4-7

邵 迎建、読林奕含『房思琪の初恋樂園』、上海書評、査読無、2017

https://www.thepaper.cn/newsDetail_forward_1734235

韓 燕麗、劉文兵著『日中映画交流史』(東京大学出版会、2016 年 6 月)、映像学、査読無、第 98 号、2017、pp.77-80

https://doi.org/10.18917/eizogaku.98.0_77

城山 拓也、芸術家としての「漫画家」 1930 年代中頃の葉浅予と『時代漫画』、立命館国際地域研究、査読有、第 45 号、2017、pp.119-134

城山 拓也、「Bringing Up Father」から「王先生へ」 葉浅予と 1920 年代上海の都市文化、マンガ研究、査読有、第 23 号、2017、pp.123-142

韓 燕麗、追溯海外光影--无声片時期在美国移民的電影制作、当代電影、査読有、6 月号、2016、pp.80-86

韓 燕麗、戦前のブラジル日系社会における日本映画の上映と受容、エクス 言語文化論集、査読無、第 10 号、2016、pp.49-62

邵 迎建、無思想之思想 - 論李長声的『知日』話語、徳島大学言語文化紀要、査読無、第 24 巻、2016、pp.89-107

邵 迎建、革命 戦争と女性 白薇的『打出幽霊塔』与張愛玲的『傾城之恋』、職大 学報、査読無、第 5 期、2016、pp.40-44

邵 迎建、天国の夏衍先生へ 『上海解放 夏衍自伝・終章』、東方、査読無、第 421 号、2016、pp.31-34

西村 正男、日本ロック創成期に中国系音楽家が果たした役割、野草、査読有、第 97 号、2016、pp.53-66

アン 二、戦争的記憶和記憶中的戦争 簡論日本電影的戦争表象、当代電影、査読有、第 8 期、2015、pp.81-86

韓 燕麗、独立制片人描述的戦争 論新藤 兼人的遺作<一張明信片>当代電影、査読

有、第 8 期、2015、pp.92-96

邵 迎建、『大河』『緑衣』における中国人モデル及び話劇演目考、阿部知二研究 城 からの手紙、査読無、第 22 号、2015、pp.4-17

邵 迎建、從花木蘭到張静嫻 論電影《万世流芳》、査読有、第 3 期、2015、pp.37-43

[学会発表](計 39 件)

西村 正男、戦後日本の流行歌シーンにおける中国趣味の継承 山口淑子・胡美芳から、日本大学文理学部人文科学研究科総合研究「ジャンルの記憶とその転換をめぐる研究 東アジアの言語・文化・表現史を中心に」(招待講演) 2018

西村 正男、戦後における李香蘭の二人の後継者 胡美芳と葛蘭、名古屋大学文学研究科・文学部国際ワークショップ「移動するメディアとプロパガンダ 抗日戦争期から戦後にかけての芸術文化」(国際学会) 2018

邵 迎建、『花街』と『春栄根』(邦題『狼火は上海に揚がる』) 庶民/権力・宣伝、国際シンポジウム「貫戦期における日中映画」(国際学会) 2018

邵 迎建、革命、戦争女性 白薇『打出幽霊塔』と張愛玲『傾城之恋』、中国女性史研究会例会、2018

城山 拓也、張光宇の『西遊漫記』について、名古屋大学文学研究科・文学部国際ワークショップ「移動するメディアとプロパガンダ 抗日戦争期から戦後にかけての芸術文化」(国際学会) 2018

西村 正男、東アジアの初期ロック受容と「伝統」の創造 『ゲーリンチェ少年殺人事件』の音楽から、国際シンポジウム「台湾人が歩んだ民主化・本土化の道 台湾民主化運動の 40 年」(招待講演) (国際学会) 2017

西村 正男、「何日君再来」再考、日本現代中国学会第 67 回全国学術大会、2017

西村 正男、音楽のつば台湾 『ゲーリンチェ少年殺人事件』の音楽から、日本ポピュラー音楽学会 2017 年度第 3 回関西地区例会、2017

邵 迎建、文学辜負了 tamenma 読林奕含『房思琪の初恋樂園』、第十三回中国女性文学学術研討会(招待講演) (国際学会) 2017

邵 迎建、菊与刀 中日第一部合拍電影及其他、河南大学外国語学院講演(招待講演) (国際学会) 2017

城山 拓也、「映画的」とは何か 中国モダニズム文学を手がかりに、2017 年度中国現代文学研究者懇話会(招待講演) 2017

韓 燕麗、返還 20 年の香港映画を振り返る、日本現代中国学会関西西部会大会(招待講演) 2017

西村 正男、日本人によって記され歌われた中国流行歌、日本比較文学会第 40 回中部大会シンポジウム「戦時期日本におけ

る半植民地・植民地の音楽・舞踊表象」(招待講演) 2016
 西村 正男、Taiwanese Singers on Japanese Popular Music Scene in 1970s、North American Taiwan Studies Association 22nd Annual Conference (国際学会) 2016
 西村 正男、日本華僑の流行音楽活動史：以 1940 年代至 1970 年代为中心、9th International Conference of the International Society for the Study of Chinese Overseas (国際学会) 2016
 西村 正男、李雋青の作詞術、国際学術研討会《一九四〇年代政治宣伝及媒体表象》(国際学会) 2016
 西村 正男、日本華僑におけるポップミュージックの歴史：1940 年代 1970 年代を中心に、清華・日文研フォーラム：グローバル時代における東アジアの大衆文化研究(国際学会) 2016
 韓 燕麗、亞洲視野下的華莱坞影像 從《深夜前的五分鐘》看華莱坞電影的跨文化嘗試、“電影+：亞洲視野下華莱坞的影像互聯” 国際学術研討会(国際学会) 2016
 韓 燕麗、戦後初期香港国語映画の制作、国際学術研討会《一九四〇年代政治宣伝及媒体表象》(国際学会) 2016
 邵 迎建、上海における話劇(1946-49)、文化空間と文化融合国際シンポジウム(招待講演) 上海社会科学院、2016
 ⑲ 邵 迎建、『万世師表』及其他 抗日戦争知識人的故事、中日文学与文化交往国際学術研討会(国際学会) 雲南大学、2016
 ⑳ 邵 迎建、『万世師表』及其他 從重慶到上海、国際学術研討会《一九四〇年代政治宣伝及媒体表象》(国際学会) 2016
 ㉑ アン 二、川喜多長政と上海、ワークショップ「戦時・上海・グレーゾーン 抵抗と協力のはざままで」 2016
 ㉒ アン 二、現実と表象の間での移動 戦後の李香蘭・山口淑子とその主演作品について、国際学術研討会《一九四〇年代政治宣伝及媒体表象》(国際学会) 2016
 ㉓ アン 二、戦後日本映画における中国古典の映画化 日本、大陸、香港、東南アジアに跨る大衆文化の記憶、清華・日文研フォーラム：グローバル時代における東アジアの大衆文化研究(国際学会) 2016
 ㉔ 城山 拓也、『Bringing Up Father』から『王先生』へ 葉浅予と 1920 年代上海の都市文化、日本マンガ学会第 16 回大会、2016
 ㉕ 城山 拓也、芸術家としての『漫画家』 1930 年代中頃の葉浅予と『時代漫画』、大阪市立大学第 78 回中国学会、2016
 ㉖ 城山 拓也、1940 年代中国作家と漫画家之遷徙 以張光宇『西遊漫記』为中心、国際学術研討会《一九四〇年代政治宣伝及媒体表象》(国際学会) 2016
 ㉗ 城山 拓也、『良友』画報と『漫画』 万籟鳴を中心に、国際シンポジウム「上海と

『良友』画報の世界」(国際学会) 2016
 ⑳ 西村 正男、永遠の聾耳、2015 年度先端社会研究所全体研究会「文化的多様性を尊重する社会の構築に向けて《共同研究最終成果報告》」、2016
 ㉑ 韓 燕麗、戦時下中国における抗日映画と対外宣伝、シンポジウム「国際文化振興会製作映画と日本の表象」、2016
 ㉒ 西村 正男、神戸華僑音楽家梁楽音与戦時上海流行音楽、“声音記録下的近代中国城市社会変遷” 国際学術研討会(国際学会) 2015
 ㉓ 西村 正男、1970 年代日本の流行音楽シーンにおける華僑華人歌手 台湾系を中心に、国際シンポジウム「台湾流行歌謡 日本・中国との文化的交錯」(国際学会) 2015
 ㉔ 西村 正男、神戸華僑音楽家梁楽音与戦時上海流行音楽、“影連亞洲和世界城市：重審早期中国電影” 論壇(国際学会) 2015
 ㉕ アン 二、『私の鶯』と李香蘭、李香蘭 映画と音楽(招待講演) 2015
 ㉖ 邵 迎建、借古喻今：戦時上海的電影策略、“抗戰文化与文学研究” 学術研討会、2015
 ㉗ 邵 迎建、時代和女性 黄薇《打出幽霊塔》与張愛玲《傾城之恋》、“中国女性文学” 第 12 届国際学術研討会、2015
 ㉘ 城山 拓也、葉浅予『王先生別伝』をめぐる考察、日本現代中国学会 2015 年度関西部会大会、2015
 ㉙ 城山 拓也、職業としての漫画家 1930 年代中頃の葉浅予と『良友』、『時代漫画』、2015 年度第 1 回中国語圏地域人文学研究会、2015

〔図書〕(計 12 件)

邵 迎建、西村 正男 他、東方書店、越境する中国文学 - 新たな冒険を求めて、2018、665 (271-281, 311-325)
 城山 拓也 他、勉誠出版、上海モダン『良友』画報の世界、2018、504(111-136)
 アン 二、北京大学出版社、戦時日中電影関係史、2018(印刷中)
 西村 正男 他、丸善出版、中国文化事典、2017、784(514-515)
 西村 正男 他、明石書店、中国雲南省少数民族から見える多元的世界 - 国家のはざまを生きる民、2017、192(101-104, 147-157)
 アン 二、邵 迎建 他、勉誠出版、戦時上海グレーゾーン 溶融する「抵抗」と「協力」、2017、240(167-184, 237-239)
 アン 二 他、水曜社、映画は文学をあきらめない ひとつの物語からもうひとつの物語へ、2017、280(161-173)
 邵 迎建 他、研文出版、戦時上海のメディア 文化的ポリティクスの視座から、2016、382(133-157)
 城山 拓也 他、関西学院大学出版会、中華文化スター列伝 ドラゴン解剖学竜の子孫の巻、2016、222(71-83)
 邵 迎建、西村 正男 他、勉誠出版、上海租界の劇場文化 混淆・雑居する多言語空

間、2015、228 (123-137, 194-203)
西村 正男 他、勉誠出版、増補改訂 戦
争・ラジオ・記憶、2015、632(250-268)
アン 二 他、森話社、日本映画の海外進
出 文化戦略の歴史、2015、384(111-134)

〔産業財産権〕該当なし

〔その他〕該当なし

6. 研究組織

(1) 研究代表者

西村 正男 (NISHIMURA, Masao)
関西学院大学・社会学部・教授
研究者番号：80302652

(2) 研究分担者

韓 燕麗 (HAN, Yanli)
関西学院大学・経済学部・教授
研究者番号：10537096

邵 迎建 (SHAO, Yingjian)
徳島大学・大学院総合科学研究部・教授
研究者番号：30375315

城山 拓也 (SHIROYAMA, Takuya)
立命館大学・言語教育センター・嘱託講師
研究者番号：60749109

アン 二 (YAN, Ni)
日本映画大学・映画学部・特任教授
研究者番号：70509140